



第5回地震等緊急時対応特別調査委員会（8月7日）

はじめに、議事1「副委員長の互選」を行い、広島市水道局次長の平尾委員を新たに選任した。次に、議事2「応援体制検討小委員会報告書」について、事務局より説明があった。

続いて、議事3「訓練実施方法等検討小委員会中間報告」について、小委員会委員長の本協会玉野井調査部長より第4回小委員会での決定事項等の報告があった。報告後、委員からの意見を踏まえ、訓練実施方法の詳細について、引き続き小委員会で検討していくこととなった。

その他、議事4「応援体制検討小委員会報告書の周知と今後に向けた取組」について、事務局より説明があった。

第18回 ISO/TC224上水道国内対策委員会（8月7日）

ISOの専門委員会TC224の活動状況について、6月に開催された総会及び設置済みの各ワーキンググループの活動について報告がなされ、他の専門委員会の活動については再生水利用に関する専門委員会TC282の報告がなされた。

第42回 IWA 日本国内委員会（8月29日）

任期満了に伴う委員の変更があったため、はじめに正・副委員長の互選を行い、引き続き委員長には古米東京大学大学院教授を、副委員長には吉田日本水道協会理事長を選任した。

続いて報告事項として、最近のIWAの動き、2018年IWA世界会議・展示会（東京）開催準備活動、IWA関連イベント参加報告、IWA会員アンケート結果等に関して事務局より説明した。



第123回水道 GLP 認定委員会（8月29日）

水道GLP認定について、柏崎市ガス水道局（JWWA-GLP051）と鉏路市上下水道部（JWWA-GLP052）が認定更新検査機関として、また熊本市上下水道局（JWWA-GLP074）、株式会社東洋環境分析センター（JWWA-GLP122）と滋賀県企業庁（JWWA-GLP123）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

平成29年度第2回運営会議（9月4日）

副会長である浅利豊中市長が議長となり、報告事項1「平成30年度水道関係予算の概算要求」について、厚生労働省、総務省から説明があったのち、報告事項2「水道整備促進全国決起集会（自由民主党）」、報告事項3「東日本大震災被災地への復興支援」、報告事項4「地震等緊急時対応特別調査委員会の検討状況」、報告事項5「平成29年度水道イノベーション賞」、報告事項6「平成29年度全国会議（高松市）シンポジウム」、報告事項7「平成29年度全国会議における国際イベントの概要」、報告事項8「2018年第11回国際水協会（IWA）世界会議・展示会」、報告事項9「平成28年度水道賠償責任保険等の実績」について、事務局から説明があった。

続いて、第1号議案「平成30年度水道関係予算の要望」、第2号議案「日本水道協会第91回総会会員提出問題」、第3号議案「平成30年度全国会議の開催地」がそれぞれ上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、関係国会議員及び財務省に対し陳情を行った。



運営会議の様子



浅利豊中市長



自由民主党水道事業促進議員連盟事務局長
務台俊介 衆議院議員への陳情

第716回抄録委員会（9月5日）

本誌11月号及び12月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議を行った。

水道事業管理職事務研修会（東京会場：8月17日～18日、大阪会場：8月24日～25日）

水道事業体に従事する事務系管理職及び管理職を補佐する方々140名（東京会場74名、大阪会場66名）の参加を得て「水道事業の現状と課題」、「水道経営と財政のポイント」、「水道事業における労働法体系並びに労務管理」、「水道事業における危機管理」、「水道事業における情報セキュリティ対策」、「事例研究：群馬東部における水道事業の広域化」、「水道行政の動向」について研修を実施した。

配管設計講習会（中国四国会場：8月23日～25日、東北会場：9月6日～8日）

水道事業体及び設計業者の方々101名（中国四国会場50名、東北会場51名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

漏水防止講座（東京会場第3回：8月30日～9月1日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々60名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使用した実地研修を行った。

漏水防止講座（大阪会場：8月30日～9月1日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々30名の参加を得て、大阪市水道局体験型研修センターにおいて研修会を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「配水量分析」、「漏水防止対策」、「事件事例・安全対策」、「管路の情報管理」、「漏水探査」、「管路の保全対策と修繕」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使用した実地研修を行った。

未納料金対策実務研修会（東京会場第2回：8月31日～9月1日）

水道事業体及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々67名の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。